

くまもとの
森林・林業を
まもりつなぐ



©2010 熊本県くまモン

くまもと林業大学校

Kumamoto Forestry College



しっかり学べる学校です。

専門的な技術までを

くまもと林業大学校は
林業の基礎から

熊本県はスギ・ヒノキ素材生産が全国有数の林業先進県です。県内の森林資源が成熟する中、木質バイオマス利用や、丸太・製材品の輸出など、これまでにない木材需要の拡大の動きが加速化しています。今後は、木を伐って、植えて、さらに育てていくための人材の確保・育成が重要になります。そこで、熊本県では、平成31年(2019年)4月に「くまもと林業大学校」を開校しました。林業に必要な技術と現場力を兼ね備えた即戦力となる人材の育成、そして意欲と能力のある林業経営者を養成することにより、次世代をリードする林業担い手の確保・育成を図って参ります。林業に興味のある皆様、熊本県で林業をやってみませんか？



教育方針



01 人材の育成方針

新規就業希望者

林業に必要な技術と現場力を身に付けて、即戦力となる人材を育成

林業経営者

熊本の林業をリードする意欲と能力のある林業経営者等の育成

就業者／自伐林家／高校生／女性担い手

対象者に応じた人材を育成

02 魅力ある研修環境づくり

①「林業従事者・経営者育成コース」、「自伐林家育成コース」、「林業体験・学習コース」の3コースを設け、受講者のニーズに応じた選択が可能

②現場で使える技術と能力を習得できる、時代のニーズに対応した魅力的カリキュラムの構成
(ICT活用、経営者を対象とした経営マネジメント講座 等)

③「林業従事者・経営者育成コース」の長期課程では、受講生が通いやすいよう「県北校」と「県南校」の2校体制で運営



林業従事者・ 経営者育成コース

こんな方に

- ・新規就業希望の方
- ・スキルアップを目指す林業従事者
- ・マネジメントの向上を目指す林業経営者

必要な技術と現場力の習得で
林業の即戦力となる
人材を育成します

林業従事者・経営者育成コース

自伐林家育成コース

林業体験・学習コース

【長期課程】 定員20名

対象	新規就業希望者				
目的	林業に必要な技術と現場力を身に付けて、即戦力となる人材を育成				
主な研修内容	林業の基礎、林業に必要な資格取得、ICTなどの最新技術の習得、自立・定着に係る講義など				
研修期間	1年(200日間)				
主なカリキュラム	<input type="checkbox"/> 林業基礎 <input type="checkbox"/> 林業経営 <input type="checkbox"/> 調査測量 <input type="checkbox"/> 安全衛生 <input type="checkbox"/> 造林・育林 <input type="checkbox"/> 素材生産 <input type="checkbox"/> 路網 <input type="checkbox"/> 木材利用 <input type="checkbox"/> 特用林産 <input type="checkbox"/> 森林保護 <input type="checkbox"/> インターンシップ <input type="checkbox"/> ICT等				
取得できる資格等	<input type="checkbox"/> 普通救命講習 <input type="checkbox"/> 刈払機取扱作業者安全衛生教育 <input type="checkbox"/> チェーンソーを用いる伐木の業務特別教育 <input type="checkbox"/> 走行集材機械・簡易架線・伐木機械運転業務特別教育 <input type="checkbox"/> 機械集材装置の運転の業務に係る特別教育 <input type="checkbox"/> 荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育 <input type="checkbox"/> 小型移動式クレーン運転技能講習 <input type="checkbox"/> 玉掛け技能講習 <input type="checkbox"/> 車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込み用及び掘削用) <input type="checkbox"/> 不整地運搬車運転技能講習 <input type="checkbox"/> 狩猟免許(わな) <input type="checkbox"/> ロープ高所作業特別教育 <input type="checkbox"/> フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業に係る特別教育				

研修風景





【専門課程】林業従事者(初級) 定員50名

対象	林業従事者(初級)
目的	基礎的な技術を再確認し、第一線で安全でかつ効率的な作業ができる人材を育成
主な研修内容	林業の基礎、林業に必要な資格取得、ICTなどの最新技術の習得など
研修期間	31日間
主なカリキュラム	<input type="checkbox"/> 林業入門 <input type="checkbox"/> 林業施策 <input type="checkbox"/> 森林調査 <input type="checkbox"/> 森林管理 <input type="checkbox"/> 林業経営 <input type="checkbox"/> 立木評価 <input type="checkbox"/> 施業プラン <input type="checkbox"/> ICT等
取得できる資格等	<input type="checkbox"/> 刈払機取扱作業者安全衛生教育 <input type="checkbox"/> チェーンソーを用いる伐木の業務特別教育 <input type="checkbox"/> 走行集材機械・簡易架線・伐木機械運転業務特別教育 <input type="checkbox"/> 機械集材装置の運転の業務に係る特別教育 <input type="checkbox"/> 荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育 <input type="checkbox"/> 小型移動式クレーン運転技能講習 <input type="checkbox"/> 玉掛け技能講習 <input type="checkbox"/> 車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込み用及び掘削用) <input type="checkbox"/> 不整地運搬車運転技能講習

研修風景



【専門課程】林業従事者(中上級) 定員10名

対象	林業従事者(概ね5年程度)
目的	基礎的な技術を再確認し、第一線で効率的な作業や指導ができる人材を育成
主な研修内容	新規就業者の定着推進に係る指導能力や生産性向上(効率的な作業システム)に係る研修など
研修期間	10日間
主なカリキュラム	<input type="checkbox"/> 新規就業者指導能力向上 <input type="checkbox"/> 木材市場動向 <input type="checkbox"/> 先進林業事業体視察等

研修風景



【専門課程】林業経営者 定員10名

対象	林業経営者
目的	熊本の林業をリードする意欲と能力のある林業経営者等の育成
主な研修内容	経営マネジメントや雇用管理など
研修期間	5日間
主なカリキュラム	<input type="checkbox"/> 経営の基本:経営の基礎、財務診断の手法の習得等 <input type="checkbox"/> 改善手法:作業現場、人材育成、労働安全等の改善方法の習得等 <input type="checkbox"/> 経営者による将来の行動計画発表

研修風景





自伐林家育成コース

こんな方に

- ・自身の山の整備をはじめたい方
- ・林業研究グループ、自伐林家など

地域の森林を
自ら守ることのできる
人材を育成します

林業従事者・経営者育成コース

自伐林家育成コース

林業体験・学習コース

【短期課程】自伐林家（希望者・指導者）

対象	自伐林家（希望者・指導者）
目的	熊本の森林を自ら守ることのできる人材を育成
主な研修内容	希望者：林業（森づくり）の基礎等 指導者：森づくり初心者に対しての教え方等

【短期課程】自伐林家（リーダー養成・全体）

対象	林業研究グループ・自伐林家など
目的	熊本の森林を自ら守ることのできる人材や新たな自伐林家を養成する人材を育成
主な研修内容	技術研修や先進地視察研修など

研修風景





林業体験・学習コース

こんな方に

- ・女性の林業担い手
- ・高校生
- ・森林・林業に興味のある一般の方

見て体験して
くまもとの森林・林業が身边に
林業担い手の魅力も体感

林業従事者・経営者育成コース

自伐林家育成コース

林業体験・学習コース

【短期課程】女性担い手育成研修

対象	女性林業担い手
目的	女性が山村地域で活躍できるよう支援
主な研修内容	林業機械操作体験や地域資源の活用等



【短期課程】高校生対象研修

対象	県内の高校生(林業系高校)
目的	熊本の森林・林業を身近に感じ、林業担い手に魅力を感じることのできる人材を育成
主な研修内容	林業体験や視察研修等



【公開講座】

対象	林業に興味ある一般の方
目的	熊本の森林・林業に魅力と親しみを感じ、林業担い手に魅力を感じることのできる機会の提供
主な研修内容	森林・林業に関する講座等(チェーンソーの整備及び使用方法、森林・林業ツアーなど)





野口
琢竜さん

熊本県阿蘇市出身

ここで学んだことを活かし 全国でも活躍できる林業マンを目指す。

運動が大好きで、小学生のころから剣道に打ち込んでいた野口さん。「将来は体を使った仕事がしたい」と考え、高校は県立阿蘇中央高校グリーン環境科に進学しました。高校3年時の進路選択に際して、先生から「今まで得た知識をさらに深めることができ、林業に必要な資格全般を取得できる」との理由でくまもと林業大学校を勧められ、入校を志望しました。

くまもと林業大学校の長期課程は、1年の研修期間中に森林・林業の役割や木の名前、樹木の見分け方、伐採届などの規制等について座学で学べます。また、林業の現場に必要な資格取得はもちろんのこと、刈払機やチェーンソー、プロセッサなどの高性能林業機械の操作方法も実習を通して、しっかりと技術を身に付けることができます。幅広いカリキュラムの中で、特に野口さんが力を入れているのはチェーンソーを使った実習。さまざ

まな伐倒方法や(木を)狙った方向に倒す技術の習得に面白さを感じていて、「どうやったら上手く倒せるか、自分で工夫するのが楽しい」と魅力を話します。

くまもと林業大学校で学ぶ傍ら、地元・阿蘇市で植林のアルバイトも行っている野口さん。その作業を通じて、林業の奥深さや必要性を実感しています。卒業後は、「くまもと林業大学校で学んだことを活かし、地元林業の発展に貢献しながら、全国でも活躍できる林業マンになりたい!」と夢を描いています。





嶋田
美和さん

熊本県人吉市出身

夢は親子で林業に携わること 自分が育てた木を息子に伐ってほしい。

以前は美容師で、結婚後は主婦をしながら夫が営む林業会社の事務作業を手伝っていた嶋田さん。時折足を運んでいた伐採現場で、見かけない機械や道具が並ぶ光景に「ちょっと興味があった」と話します。くまもと林業大学校への入校を考えたのは、人手が足りない時などに現場を手伝ううち、「自分ももっと作業ができるば力になれるのに」との思いが強くなったことがきっかけ。現在は、五木村にある県南校で、新規就業希望者向けの長期課程に通いながら技術習得に励んでいます。

1年間にわたる長期課程では、林業の基礎から必要な資格取得、ICTなどの最新技術の習得まで、林業で自立・定着するための知識と技術を、座学と実習で学びます。入校当初は、「チェーンソーが怖くて苦手だった」と話す嶋田さん。しかし、実習を重ねてチェーンソーの技術に触れるうちに克服。「実習先の各事業体の良い部分や自分に合う部分を

吸収でき、スキルアップにつながった」と振り返ります。

入校前は、「林業は木を伐って売るだけの仕事」と思っていましたが、植え付けや下刈り、枝打ち、間伐といった「造林・育林」に関わる面を知り、長い年月をかけて山林を守り・育てていく林業の奥深さに魅力を感じています。「一から覚えることが多くて大変」と話す嶋田さんですが、卒業後は夫の会社で林業に従事し、息子にも林業の道に進んでもらいたいと願っています。「私が育てた木を、将来息子が伐ってくれたら」と微笑みます。





くまもと林業大学校で学べたことが 今の充実した毎日への出発点です。

狩猟免許を取得して山林へ足を運ぶ機会が増えた徳永さん。「もっと山のことを知りたい！」との思いが高じて、長年勤めた飲食業から林業への転身を志しました。しかし、その当時は林業経験がなく、なかなか希望する林業事業体が見つからず林業への就業を諦めかけていました。そんな時に「くまもと林業大学校」を知り、平成31年(2019年)4月に入校しました。さらに、林業大学校の休みを利用し、小国町森林組合の見学に何度も訪れる中で就業を決意。卒業と同時に同組合に就業しました。

現在、徳永さんは同組合の森林整備課に所属。伐倒作業や造材、積み込み、運搬などの仕事を任されています。日々の作業では機械操作や運転が不可欠ですが、働きながらの資格取得は難しいため、「くまもと林業大学校で集中して資格が取れて良かった」と実感しています。当時の資料は、今も度々見返したりして現場作業に生かし、ス

上司からの一言

基礎を学んだ卒業生は、すぐに現場で力を発揮。

小国町森林組合では37名の職員が働き、同町一帯で森林調査や伐木搬出、造林、木工販売などを行っています。徳永さんは森林整備課に所属し、管内で先輩職員と共に伐木作業などに従事しています。着任初日から現場で力を発揮していて、今も着実に経験を積んでいます。林業の現場では、事故の危険性などもあることから未経験者の雇用は難しく、くまもと林業大学校で

キルアップに努めています。また、くまもと林業大学校と一緒に学んだ仲間とも連絡を取り合って、仕事やプライベートについて話せるかけがえのない存在。「お互い刺激し合うことが仕事のモチベーションになっている」と話します。

「(林業は)好きで選んだ仕事なのでやりがいが大きい」と充実した毎日を送る徳永さん。「小国町の豊かな森林資源を次世代へ伝える」との思いを胸に、山の資源を生かせる林業人を目指して木々と向き合っています。



小国町森林組合
穴井 喜一郎さん(写真右)・原山 尊吉さん(写真左)

しっかりと基礎を学んでから事業体に来てもらえるのは非常に助かります。当組合では、今後も新たな林業担い手を増やす予定なので、徳永さんは後輩の指導はもちろん、後に続く人の目標となる林業人に育ってもらいたいです。





青木 隆さん

群馬県出身

森、川、海へと循環する自然 自分の役目はキレイな森を作ること。

群馬県出身の青木さんが、地元から遠く離れた阿蘇で林業の仕事に就いて早5年。群馬から屋久島を目指すバイク旅の途中で、南阿蘇村で林業をしている知人を訪ねたことが、この仕事を選ぶきっかけとなりました。さらに旅を続けるうち、妻・美和さんとの運命的な出会いがあり、2人で熊本への移住を決意。そこで、植林など森に携わるアルバイトを経験する中で、益々林業への興味をかき立てられ、くまもと林業大学校の前身であるくまもと緑の新規就業支援研修の長期研修で1年をかけて技術を習得しました。その後、現在の職場である梅本林業に就業。

「木の状態、天候、地形などによって木の切り方も違います。その時々で技術を高めながら、思い描いたとおり伐木できた時の爽快感がたまりません」と、自身の仕事を熱く語る青木さん。林業は、チェーンソーなどを扱

うため、常に危険と隣り合わせの仕事ですが、近年はウエアや靴の性能向上で安全性も高まっています。さらに青木さんは、「AI搭載のショベルなども登場し、将来的に林業の仕事が大きく変わっていく」と予想。今後一層、林業担い手が減少・高齢化する中、「若い人たちと林業を盛り上げていきたい」と意欲的です。

木を伐ることで森がきれいになり、川、海へと循環していく。青木さん一家は、そのサイクルの中に身を置きながら、里山での暮らしを楽しんでいます。



上司からの一言

現場を任せられるリーダーに成長。後輩の指導にも期待します。

弊社は社員7名で、阿蘇市郡内や菊池市で造林や伐木などを行っています。青木さんは当初、アルバイトとして弊社で働いていました。「くまもと緑の新規就業支援研修」の長期研修(くまもと林業大学校の前身)修了後、本人の希望もあり、そのまま社員として受け入れることにしました。入社に当たっては国の「緑の雇用」事業を活用。手続きや慣れない申請書類の提出は大変でしたが、

梅本林業
梅本 奈麻美さん(写真右)・梅本 雅義さん(写真左)

今では現場を任せられるまでに育ってくれ、当時の苦労も笑い話です。青木さんは今年、現場の管理・責任を担う「フォレストリーダー」の資格を取得できます。後輩も3名いるので、今後は若手の指導を期待しています。



くまもとの森林・林業をまもりつなぐ

くまもと林業大学校

施設のご案内

県北地域を中心とした県北校と県南地域を中心とした県南校があります



【県北校・座学拠点】

熊本県林業研究・研修センター
熊本市中央区黒髪8-222-2

【県南校・座学拠点】

五木村役場
球磨郡五木村甲2672-7

熊本県農林水産部森林局林業振興課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18-1

TEL.096-333-2444 FAX.096-381-8710

www.kumamoto-forestry.ac.jp

